

新しい学校生活への期待に胸ふくらませ 市内の各小・中学校で入学式

4月8、9日、市内の各小中学校で入学式が行われました。

4月8日に行われた通小学校入学式では、新入生7人が在校生が掲げたアーチをくぐり抜けて入場。在校生代表が歓迎の言葉を述べると、新入生は期待に胸をふくらませて話を聞いていました。向陽小学校では、在校生全員でトトロでおなじみの「さんぽ」を歌って新入生11人を歓迎しました。

また、同日行われた仙崎中学校入学式では、70人の新入生が吹奏



通小学校入学式



向陽小学校の新入生11人

楽部の演奏に迎えられて入場。新入生代表が「仙崎中学校の生徒として学校の規則を守り、一生懸命努力することを誓います」と力強く宣誓しました。

今年度の長門市内の新入学生は、小学生が178人、中学生が237人となっており、それぞれが新しい学校生活をスタートさせました。

春の全国交通安全運動街頭キャンペーン 街頭で安全運転を呼びかけ

4月12日、春の全国交通安全運動の一環として街頭キャンペーンが長門警察署近くの国道191号線交差点で行われました。

市内の各種団体や事業所から約60人が参加し、車が信号で停止するたびに交通安全を啓発するチラシやティッシュ、マスク、人形などの安全グッズをドライバーに手渡し、事故防止と安全運転を呼



びかけました。

長門豊川稲荷「桜まつり人形供養」 思い出の人形に感謝と別れ

4月1日、湯本の大寧寺境内にある長門豊川稲荷の人形堂で、同稲荷奉賛会が主催した「桜まつり人形供養」が行われました。

満開の桜の下で行われた供養には約20人が参列。持ち寄られた日本人形やぬいぐるみ、おもちゃなど100体以上の人形がお堂に供えられました。参列者は焼香の後、それぞれ自分の人形への思いや感謝の言葉を書き込んだ経木札を燃やして別れを告げました。



この人形供養は毎年4月1日に行われ、広く一般の人にも参加を呼びかけています。

金子みすゞ記念館 開館1周年

4月11日、金子みすゞ記念館が開館1周年を迎えました。これを記念して、この日からの入館者先着300人に特製しおりが配られました。金子みすゞ記念館は平成15年の4月に開館して以来、1年間の入館者は当初の予想を大きく上回り、20万874人を数えました。



母校仙崎小学校に 油谷選手の応援幕

アテネ五輪代表・油谷繁選手の母校仙崎小学校で油谷選手を応援する垂れ幕が掲げられ、4月14日、全校児童に披露されました。

「油谷繁選手・夢をありがとう 私たちの誇りです」と書かれた応援幕の前で、児童全員が油谷選手にエールを送りました。

